

ら、9世紀後半台に建て替えられたと考えられる。建物敷地の西側を流れるSD1から出土した土器は、すべて9世紀代の土器である。土器の表面が摩滅していないため、はるか上流から流されたものではなく、近辺から廃棄されたものと推定される。このことよりSD1の出土遺物の時期幅が、その東岸の建物群の存続期間と推定でき、9世紀代に収まると考える。

一方、8世紀代の遺構と遺物の検出は調査区西側の谷地形の範囲に偏っている。SK5は8世紀後半代の須恵器および礫を廃棄した跡と考えられ、その近辺では同時代と考えられる焼土面を検出している。谷地形を埋めている遺物包含層に含まれる土器の時期は、縄文土時代早期の押型文土器から中世の瓦質羽釜まで幅広いが、主体をなすのは8世紀代の須恵器・土師器である。西側谷地形の東側は、圃場整備時に大きく削られているために様相が不詳であるが、奈良時代までの人々の居住域は調査区の西側にあったが、平安時代には東側へ移ったことがわかる。SD1の出土遺物に8世紀代の遺物が含まれていないことから、奈良時代の居住域がSD1の西岸近くまでは及んでいなかったか、SD1自体が平安時代になって出現する河川であると考えられる。

2 遺跡の性格について

山中敏史氏は平城宮跡の遺構・遺物の諸特徴を列挙し、ある遺跡にそれらの諸特徴が見出せれば、官衙遺跡にあたる蓋然性が極めて高いとしている(山中1994)。そこで、樋口西野末遺跡に見出せる官衙的特徴を抽出すると次のとおりとなる。

- ・ 建物の桁行全長が10m以上に及ぶ。
- ・ 建物の柱間寸法が7尺(約2.1m)以上と広い。
- ・ 柱間寸法や平面形式の等しい同一規格の建物例も見られる。
- ・ 建物群の中核の建物が廂付の構造を取る。
- ・ 中核の建物が同一位置で建て替えられ、恒久的な施設としての性格を示す。
- ・ 建物の方位に統一性がある。
- ・ 周囲や内部を柵(塀)、溝などで区画する。
- ・ 墨書土器、転用硯といった、文字関係遺物が出土する。
- ・ 饗膳具とされる赤彩土師器が多量に出土する。

しかしその一方で、一般集落的な特徴も以下のように挙げられる。

- ・ 掘立柱建物の柱掘方は小型で円形、不整形である。
- ・ 柱間寸法が完数尺をとらず、まちまちである。
- ・ 建物配置に厳密な規格性は認められない。
- ・ 煮炊き用や貯蔵用の甕が出土する。

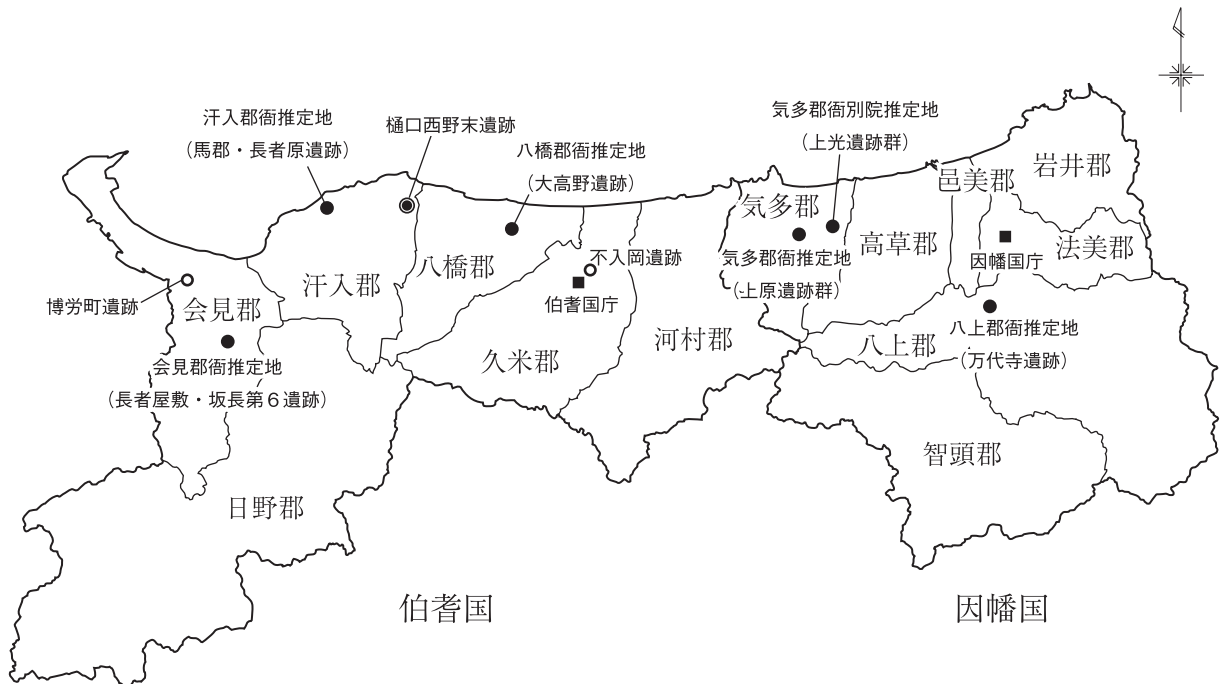
このように、樋口西野末遺跡は国衙や郡衙などの狭義の官衙遺跡とは区別されるが、一般的な集落とは異なる官衙的要素を持った遺跡といえよう。

さらに、樋口西野末遺跡の性格について絞り込んでみたい。樋口西野末遺跡は伯耆国の汗入郡の東端にあり、八橋郡との群境付近に位置する。樋口西野末遺跡の南側に「東積」という地名が残ることから、樋口西野末遺跡の所在する地域も含めた甲川の両岸一帯が律令時代の汗入郡東積郷の範囲と推定されている。汗入郡衙の候補地は諸説あるが、有力なものとしては、樋口西野末遺跡から約9km西方にある馬郡遺跡と長者原遺跡が挙げられる。馬郡遺跡は延喜式に記載された古代山陰道の「和奈駅」

第4章 総括

として推定されており、長者原遺跡は礎石建物、区画溝、多量の炭化米が見つまっていることから郡衙正倉跡と考えられている。郡衙から離れた場所に置かれ、その周辺地域を対象とした行政実務などを郡衙に準じて分掌した支所は郡衙別院と呼ばれ(山中2004-1)、県内では因幡国気多郡衙である上原遺跡群から東北東に3.3km離れた地点に位置する上光遺跡群(戸島遺跡・馬場遺跡)が知られる。上光遺跡群は東隣の高草郡から丘陵を越えて気多郡内に下り終えた位置にある点は、樋口西野末遺跡が東隣の八橋郡との郡境である丘陵の西側裾部に立地する点と似ている。しかし上光遺跡群の建物群の規模と配置が郡衙と同等であることや、存続期間が7世紀後半から9世紀代という長期間であるのに対して、樋口西野末遺跡の建物規模は小さく、官衙的配置もとらず、存続期間が9世紀後半代と短期間であるなど大きく異なり、郡衙別院の可能性は極めて低いと考える。しかし郡境という立地に着目すれば、饗応に用いられたとされる赤彩土師器の出土、建物としての格式の高い四面廂建物の存在から、公的使臣らの送迎供給の場として機能していた可能性も考えられる(山中2004-2)。

次に、官衙補完施設の可能性を考えてみたい。官衙補完施設とは民間施設でありながら官衙機能の一端を担う場であり(山中2004-3)、地方豪族居宅、郷家などがこれに該当する。樋口西野末遺跡においては主屋が廂付建物であること、主屋の前面に中庭が配置されること、居住・家政関係施設(A建物群)の空間と収納施設の空間(B建物群)が一体的に配置されること、建物の柱穴や柱筋の通り具合が一般集落の建物と似ていること、存続期間が短いこと、文字関係資料(墨書土器)、須恵器の大甕や大量の食器(赤彩土師器)が出土すること(山中2004-4)といった、地方豪族居宅の特徴に合致する点が多い。しかし一方では、敷地が柵列で区画されることや、同一地点で建物の建て替えが行われていることなど、官衙的な特徴も持ち合わせている。郷家は郷長の家であり、春時祭田の日に行われる「郷飲酒礼」という饗宴に際して、酒肴準備をはじめとする郷飲酒礼遂行の責務を負ったとされる(山中2004-5)。四面廂建物は儀礼の場として、赤彩土師器や土師器甕、須恵器甕は饗宴の食器や調理具、酒の貯蔵・醸造に用いられたという解釈もできよう。推論を重ねるならば、樋口西野末遺跡に居宅を構えていた地域の有力者が、汗入郡東積郷の郷長の任についていたという可能性も考えられる。



第54図 因幡・伯耆国官衙位置図

【参考文献】

松本修自2003「Ⅱ-2 軸部と屋根」『古代の官衙遺跡Ⅰ遺構編』独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所
 家原圭太2011「都城と周辺地域の四面廂建物」『第15回古代官衙・集落研究会 四面廂建物を考える 研究報告資料』
 独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所
 山中敏史1994「序章第2節 官衙遺跡の判定方法」『古代地方官衙遺跡の研究』塙書房
 山中敏史2004-1「X-2 官衙別院」『古代の官衙遺跡Ⅱ遺物・遺跡編』独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所
 山中敏史2004-2「X-4 その他の末端官衙」『古代の官衙遺跡Ⅱ遺物・遺跡編』独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所
 山中敏史2004-3「X-1 官衙関連遺跡と末端官衙」『古代の官衙遺跡Ⅱ遺物・遺跡編』独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所
 山中敏史2004-4「X-6 地方豪族居宅」『古代の官衙遺跡Ⅱ遺物・遺跡編』独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所
 山中敏史2004-5「X-5 官衙補完施設」『古代の官衙遺跡Ⅱ遺物・遺跡編』独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所
 竹宮亜也子1996「Ⅳまとめ」『不入岡遺跡発掘調査報告書 不入岡遺跡・沢ベリ遺跡2次調査』倉吉市教育委員会
 濱野浩美2011「第4章第3節 博労町遺跡における古代の遺物と遺構の検討」『鳥取県米子市博労町遺跡』財団法人米子市教育文化事業団
 山中敏史1988「8 戸島遺跡・馬場遺跡の性格」『上光遺跡群発掘調査報告書』鳥取県気高郡気高町教育委員会

第2節 中世集落の様相

1 樋口西野末遺跡の中世の建物跡

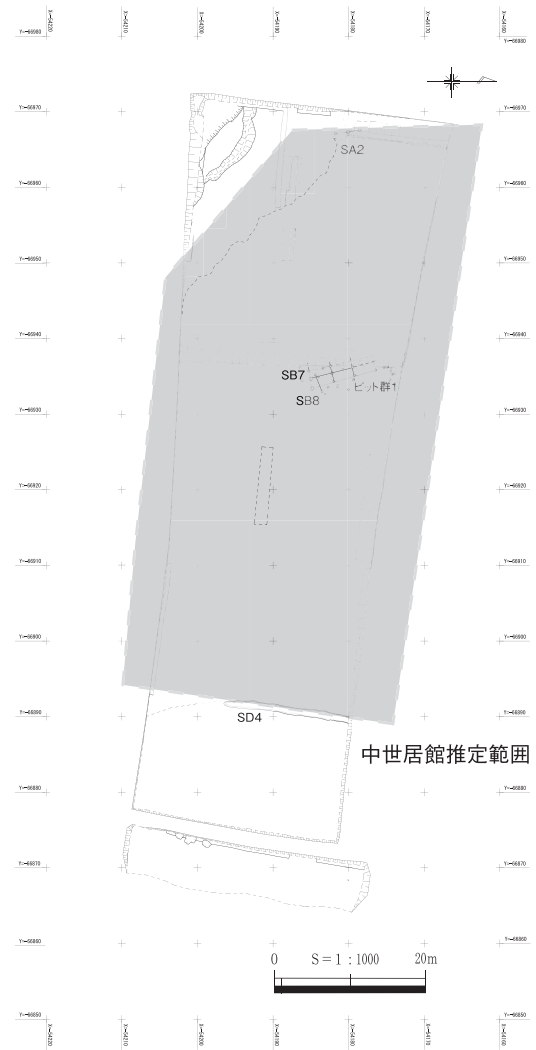
樋口西野末遺跡では、15世紀ごろと推定できる、中世の建物跡を検出することができた。検出した遺構は掘立柱建物跡2棟(SB7・8)、柵列1基(SA2)、区画溝1基(SD4)である。いずれも遺存状態は悪く、全体を復元することはできないが、西側が柵又は堀によって、東側は溝によって区画された屋敷地を想定することが可能である。

SB7は、桁行3間(8.8m)、梁行2間(2.3m)以上、平面積19.8㎡以上を測る大型の総柱掘立柱建物跡と推定できる。切り合い関係は不明であるが、SB7と重複するSB8は、桁行2間(4.4m)以上、梁行1間(2.4m)以上、平面積は10.6㎡以上を測る中型の掘立柱建物跡と推定できる。

SA2の西側は谷地形となっており、地形変換点付近に柵又は堀が設けられていた可能性がある。また、東側はSD4により区画されたものと考えられる。

復元される屋敷地の範囲は、東西約76mで、建物はやや西側に寄って建てられていることになる。本来は、もっと多くの建物が存在していたと思われるが、圃場整備による掘削で消滅したものと思われる。

遺物には、地元産と考えられる瓦質土器のほかに、勝間田焼、瀬戸美濃焼といった国産陶器、中国産青磁



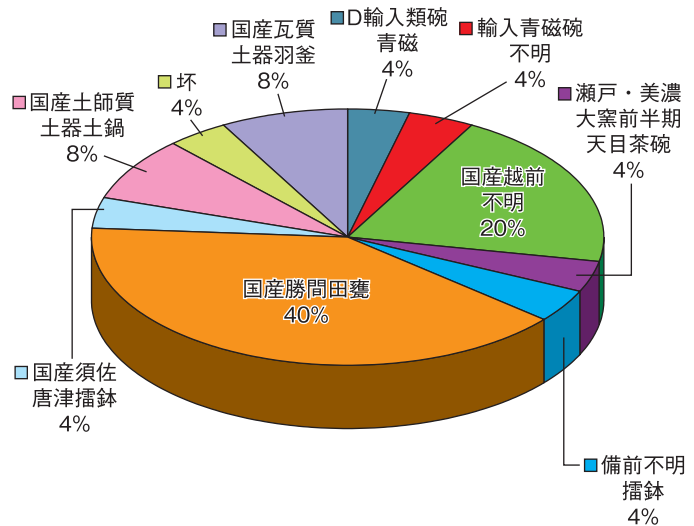
第55図 樋口西野末遺跡中世遺構配置図

表13 中世土器・陶磁器組成表

種別	器種	型式等	出土位置				計
			SD4	西側谷部 包含層	D5・6・7 グリッド 包含層	遺構外	
輸入	青磁	碗	D類			1	1
			不明			1	1
国産	越前	不明		5			5
	瀬戸・美濃	天目茶碗				1	1
	備前	播鉢				1	1
	勝間田	甕	1		1	8	10
	須佐唐津	播鉢				1	1
	土師質土器	土鍋				1	1
		坏				1	1
瓦質土器	羽釜		1		1	2	
計			1	6	2	16	25

がわずかではあるが出土しており、遺物量は少ないが輸入陶磁器を保有できる程度の人物の存在が窺われる。

なお、中世遺物の機種別割合をみると、輸入陶磁器はわずかに4%にとどまり、残りは国産陶器類である。国産陶器類の中では、勝間田焼が40%を占める。本来はもっと多いと考えられる地元産の土師質土器、瓦質土器類は20%と少ない。いずれも、大半は圃場整備に伴う掘削により失われている可能性があり、本来の状況を示すものではないと考える。(表13、第56図)



第56図 中世土器・陶磁器の組成図

2 鳥取県内の中世集落の様相

さて、近年鳥取県内において、中世の居館と考えられる遺跡や集落遺跡の調査例が、鳥取県中西部を中心に増えつつある。

居館と考えられる主な遺跡には、大山町門前上屋敷遺跡・門前鎮守山城跡、大山町倉谷西中田遺跡、琴浦町南原千軒遺跡などがある。

【門前上屋敷遺跡・門前鎮守山城跡】

この遺跡は、12世紀から14世紀代、15世紀から16世紀代の集落に分けることができる。12世紀から14世紀ごろの門前上屋敷遺跡では、幅約3.0m、一辺40m以上の方形に巡ると想定される、土塁や柵列が伴うと考えられる大規模な堀・区画溝が造られている。堀・区画溝内で建物は検出されていないが、有力層の居館に伴う方形区画の可能性はある。方形区画の外には、集落構成員の住居と思われる小規模な側柱建物が散在する。出土遺物には、輸入陶磁器、国産陶器、鍛冶関連遺物などがある。

15世紀から16世紀代の門前上屋敷遺跡では、14世紀から15世紀代に水田・畠であった場所に大規模

な造成が行われ、その上に側柱建物が建てられている。近接する門前鎮守山城跡では、寺院を想像させる墨書土器が出土しており、詳細は明らかではないが集落に付属する寺院を構成する建物の一部の可能性が指摘され、その周辺に集落構成員の住居と思われる小規模な側柱建物がみられる。また、後背の丘陵上には、堀切と土塁が築かれており、砦というより結界としての性格が考えられている。出土遺物には、地元産土師質土器・瓦質土器、備前焼・瀬戸美濃焼などの国産陶器、輸入陶磁器、鍛冶関連遺物などがある。

【倉谷西中田遺跡】

この遺跡は、2時期に分かれる居館と考えられている。13世紀末から14世紀前半では、屋敷地の南辺を区画する堀をもち、東西60～70m、南北60m以上と推定される屋敷地内部に、三面廂をもつ側柱建物2棟の他、側柱建物1棟、井戸2基、屋敷墓1基が認められた。地元産土師質土器、越前焼・備前焼などの国産陶器、輸入陶磁器、木製品などが出土している。

15世紀から16世紀前半では、東西辺にも堀が巡るようになり、いわゆる方形区画が完成し、屋敷地は東西130m以上、南北90m以上と推定され、内部にやや大型の掘立柱建物が造られている。屋敷地内部にはさらに区画溝が掘られており、いくつかの区画が存在したようである。この時期には方形区画の西側に道路が敷設されている他、多量の鍛冶関連遺物が出土しており、調査で遺構は確認されていなかったが、方形区画の南側に、やや離れて鍛冶工房が付随していた可能性が指摘されている。出土遺物には、地元産土師質土器・瓦質土器、瀬戸美濃焼・備前焼などの国産陶器、輸入陶磁器、鍛冶関連遺物などがある。

【南原千軒遺跡】

この遺跡は、12世紀から13世紀にかけて居館が造営され、14世紀後半から15世紀に館外の建物群が造られたとされる。

居館は、幅2.5～3mの堀によって、一辺80m以上の方形区画が造られ、内部に床面積78㎡を測る廂付総柱建物(SB1)、床面積66㎡を測る廂付総柱建物(SB2)の大型建物の他、大小25基以上の土坑、鍛冶炉3基などが造られている。出土遺物には、地元産と考えられる土師質土器・瓦質土器、勝間田焼・備前焼・常滑焼・瀬戸美濃焼などの国産陶器、輸入陶磁器、鍛冶関連遺物、和鏡などがある。居館内で、鉄器生産が行われていたものと考えられている。

一般の集落と考えられる主な遺跡として、大山町押平弘法堂遺跡、茶畑六反田遺跡、倉吉市今倉遺跡などがある。

【押平弘法堂遺跡・茶畑六反田遺跡】

これらの遺跡は、それぞれが近接する位置関係にあり、13世紀から14世紀の側柱建物からなる集落である。いずれも、建物を区画する柵列をもつ掘立柱建物はやや大型となり、集落の有力層の居宅の可能性があろうが、上記の遺跡に比べて建物規模がやや小さく、大規模な堀等で区画されていないのが特徴である。押平弘法堂遺跡では、輸入陶磁器、鉄製品などを副葬する屋敷墓1基が付属している。出土遺物には、土師質土器のほか国産陶器、輸入陶磁器、鉄滓や鞆羽口などの鉄関連遺物が出土しており、集落内で鉄器生産が行われていた可能性が指摘されている。

【今倉遺跡】

この遺跡は、岩倉城に対する向城とされる今倉城に隣接する、14世紀から16世紀と考えられる掘立柱建物からなる集落である。掘立柱建物跡27棟、井戸2基などが検出された。1.76～49.29㎡と小型か

第4章 総括

ら大型の掘立柱建物跡はすべて側柱建物で、東西棟1棟と南北棟1棟に小規模な建物が1ないし2棟付属する単位が、6グループに分けられると想定されている。出土遺物には、地元産土師質土器・瓦質土器、備前焼・瀬戸美濃焼などの国産陶器、青磁・白磁・青花・朝鮮陶器などの輸入陶磁器がある。

いずれの遺跡においても、建物は掘立柱建物が主流で、礎石建物は見られない。建物構造については、側柱建物が主流であるが、居館の主屋と考えられる建物には、総柱建物もしくは廂付建物があり、一般集落のものとの差異が指摘できる。

また、居館・一般集落の区別なく出土遺物には土師質土器のほか、国産陶磁器、輸入陶磁器、鉄滓などの鉄関連遺物があり、遺物の組成に大きな格差があるとはいえないが、1㎡当たりの輸入陶磁器出土点数の割合が、一般集落に対して居館のほうが大きくなっていることが指摘されており(小口2008)、輸入陶磁器の出土量が集落の性格を考えるうえである程度の指標になると考えられる。

県内の中世集落を構成する建物の性格については、必ずしも明らかにし得ない面があるが、南関東地域の建物構造の変遷を考察した服部実喜によると、中世前期(12世紀中ごろから14世紀代)の総柱建物は階層の高い屋敷の主屋や副屋に、付属建物を側柱建物とするのが一般的といわれている。中世後期(15世紀から16世紀代)では、大規模な城郭を中心に礎石建物が認められるが、中小規模の城館や集落では依然として掘立柱建物が主体で、総柱建物は小型化し倉庫などの付属施設の建物、側柱建物が住宅として用いられる(服部2001)とされているが、当該期の集落構造を考えるうえで、今倉遺跡でも指摘されている、複数の建物からなる単位の存在を、いかに抽出できるか、今後の課題として残るところである。

樋口西野末遺跡の当該期の集落形態については、以上の遺跡と比較すると、一般集落の建物が側柱建物中心であるのに対し総柱建物であること、柵列、区画溝で区画されていることになり、時期は下るものの総柱建物については、有力者層の主屋であった可能性が指摘できる。際立って明瞭な堀ではなく、出土遺物量もわずかであるものの、一般的な集落を構成する建物とは考え難く、居館としての性格を考えた方がよいであろう。

【参考文献】

- 財団法人鳥取県教育文化財団2002『茶畑六反田遺跡 押平弘法堂遺跡 富岡播磨堂遺跡 安原溝尻遺跡』鳥取県教育文化財団調査報告書77
- 財団法人鳥取県教育文化財団2005『門前上屋敷遺跡』鳥取県教育文化財団調査報告書105
- 鳥取県埋蔵文化財センター 2007『門前上屋敷遺跡Ⅱ 門前鎮守山城跡』鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書17
- 鳥取県埋蔵文化財センター 2010『倉谷西中田遺跡』鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書36
- 財団法人鳥取県教育文化財団2005『南原千軒遺跡』鳥取県教育文化財団調査報告書100
- 鳥取県埋蔵文化財センター 2007『南原千軒遺跡2』鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書13
- 鳥取県埋蔵文化財センター 2008『南原千軒遺跡Ⅲ 梅田東前谷中峯遺跡 梅田六ツ塚遺跡』鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書23
- 倉吉市教育委員会1982『今倉城・今倉遺跡発掘調査報告書—一般剣道福光北条線特殊改良1種工事における埋蔵文化財発掘調査報告—』倉吉市文化財調査報告書第27集
- 小口英一郎2008「第6節 南原千軒遺跡の総括」『南原千軒遺跡Ⅲ 梅田東前谷中峯遺跡 梅田六ツ塚遺跡』鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書23
- 服部実喜2001「第1章 東日本の中近世掘立柱建物 第1節 南関東地域における中近世建物遺構の変遷」『埋もれた中近世の住まい』浅川滋男 箱崎和久編

表14 土器・土製品観察表(1)

遺物番号	遺構区層位名	取り上げ番	挿図PL	種類器種	法量(cm)	手法上の特徴	胎土	焼成	色調	備考
1	SB3 P4-2	403	第11図 PL.18	土師器 坏	口径:11.8* 器高:3.7△ 底径:7.6*	外面:体部回転ナデ。底部ヘラ切り後押庄。 内面:体部回転ナデ。底部不整ナデ。	密	良好	内外面:にぶい黄褐色	内外面赤色塗彩。
2	SB3 P17埋土	410	第11図 PL.18	土師器 坏	口径:13.3* 器高:2.9 底径:7.5*	外面:体部回転ナデ。底部ヘラ切り。 内面:体部回転ナデ。底部不整ナデ	密	良好	内外面:橙色	内外面赤色塗彩。
3	SB3 P5埋土	409	第11図 PL.17	土師器 坏	器高:4.0△	内外面:回転ナデ。	密	良好	内外面:橙色	内外面赤色塗彩。伯耆国庁第2段階
4	SB3 P27埋土	416	第11図 PL.18	土師器 坏	器高:3.9	内外面:ナデ。	密	良好	外面:橙色 内面:黄褐色に ぶい黄褐色	伯耆国庁第2段階
5	SB3 P6埋土	404	第11図	土師器 坏	器高:2.0△	内外面:回転ナデ。	密	良好	内外面:明赤褐 ~褐色	内外面赤色塗彩。
6	SB3 P29埋土	416	第11図	土師器 坏	器高:2.8△	内外面:回転ナデ。	密	良好	内外面:にぶい 褐色	外面赤色塗彩。
7	SB3 P1埋土	399	第11図	土師器 坏	器高:2.7△ 底径:7.1*	外面:体部回転ナデ。底部回転ヘラ切り。 内面:体部回転ナデ。底部不定ナデ。	密	良好	内外面:褐色	内外面赤色塗彩。伯耆国庁第2段階
8	SB3 P4-2埋土	403	第11図 PL.18	土師器 坏	器高:2.7△ 底径:8.0*	外面:体部回転ナデ。底部ナデ。 内面:体部回転ナデ。底部不定ナデ。	密	良好	外面:浅黄褐色 内面:にぶい黄 褐色	伯耆国庁第2段階
9	SB3 P4-2埋土	403	第11図 巻頭図版2	土師器 坏	器高:1.7△	内外面:回転ナデ。	密	良好	内外面:明赤褐 色	内外面赤色塗彩。外 面墨書「水」か。
10	SB3 P6埋土	404	第11図 巻頭図版2	土師器 坏	器高:1.1△	内外面:回転ナデ。	密	良好	内外面:明赤褐 色	内外面赤色塗彩。外 面墨書。文字不明。
11	SB3 P3柱痕跡埋土	401	第11図 PL.18	土師器 坏	器高:1.7△ 底径:7.7	外面:体部回転ナデ。底部ヘラ切り後板目。 内面:体部回転ナデ。底部不定ナデ。	密	良好	内外面:明赤褐 色	内外面赤色塗彩。
12	SB3 P2埋土	400	第11図 PL.18	須恵器 高台坏	器高:3.4△ 底径:7.0*	外面:体部回転ナデ。底部ナデ。 内面:体部回転ナデ。底部不定ナデ。	密	不良	内外面:褐色	
13	SB3 P18埋土	411	第11図 PL.18	土師器 高台坏	器高:1.7△底径 .7.0*	外面:回転ナデ。	密	良好	内外面:橙色	内外面赤色塗彩。
14	SB3 P30埋土	417	第11図 PL.18	土師器 甕	口径:29.6* 器高:5.8△	外面:ヨコナデ。体部指押さえ残る。 内面:口縁部ヨコナデ。体部左方向ケズリ。	密	良好	内外面:暗褐色	外面スス付着。口縁 部内面黒斑あり。
15	SB3 P28埋土	415	第11図 PL.18	土師器 甕	器高:6.4△	外面:口縁部ヨコナデ。体部タテハケ。 内面:口縁部ヨコナデ。体部ケズリ後粗い ミガキ。	密(1~ 3mmの砂 粒わずかに 含む)	良好	内外面:にぶい 黄褐色	外面黒斑あり。
16	SB3 P1埋土	399	第11図 PL.18	土師器 甕	器高:2.6△	内外面:ナデ。	密	良好	内外面:黄褐色	底部内側スス付着。
17	SB4 P9埋土	395	第14図 PL.18	土師器 坏	口径:12.6 器高:4.2 底径:8.0	外面:体部回転ナデ。底部ナデ。 内面:体部回転ナデ。底部不定ナデ。	密	良好	外面:橙色内面: 明赤褐色	内外面赤色塗彩。伯 耆国庁第2段階
18	SB4 P3埋土	393	第14図 PL.18	土師器 坏	口径:11.0*器高 .2.5△	内外面:回転ナデ。	密	良好	内外面:明赤褐 色	内外面赤色塗彩。外 面スス付着。
19	SB4 P3埋土	393	第14図 PL.18	土師器 小型甕	口径:13.8* 器高:5.0△	外面:ナデ。体部剥離著しい。 内面:口縁部ヨコナデ。体部ケズリ。	密	良好	外面:黒褐色 内面:黒色	外面鉄分付着。
20	SB5 P4埋土中	389	第16図 PL.18	須恵器 甕	器高:3.1△	外面:平行叩き後カキ目。 内面:同心円当具痕。	密	良好	内外面:灰色	
21	SB6 P2埋土	385	第18図 PL.18	土師器 坏	器高:2.3△	内外面:回転ナデ。	密	良好	外面:明褐色 内面:明褐~ にぶい褐色	内外面赤色塗彩。
22	SK5 黒色土	370	第23図 PL.18	土師器 甕	器高:2.9△	外面:ヨコナデ。 内面:口縁部ヨコナデ。体部左方向ケズリ。	密	良好	外面:灰黄褐色 内面:にぶい黄 褐色	外面スス付着。
23	SK5 黒色土	361・362・ 363	第23図 PL.22	須恵器 坏	口径:11.7 器高:4.1 底径:8.3	外面:体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面:体部回転ナデ。底面不定ナデ。	密	良好	内外面:灰色	
24	SK5 礫混じり黒色土	75・83・ 294・ 433・437	第23図 PL.22	須恵器 鉢	器高:7.1△ 底径:8.3*	外面:回転ケズリ後ナデ。 内面:体部上半回転ナデ。下半回転ケズリ 後ミガキ。	密(石英・ 長石含 む)	良好	内外面:灰色	
25	SK5 黒色土	6・29・ 74・329・ 347・ 349・351 ~359・ 364	第23図 PL.22	須恵器 甕	器高:29.8△	外面:平行叩き。 内面:当具痕ナデ消し。	密	良好	内外面:灰色	
26	SK5 黒色土	348・350	第23図	須恵器 甕	器高:8.8△	外面:平行叩き。 内面:同心円当具痕。	密	良好	内外面:灰色	
27	SK5 黒色土	369	第23図 PL.18	須恵器 甕	器高:7.4△	外面:平行叩き。 内面:同心円当具痕。	密	良好	内外面:灰色	
28	SK7	438・ 439・ 442・459	第25図 PL.18	土師器 坏	口径:13.8* 器高:4.4 底径:8.4*	外面:体部回転ナデ。底部ヘラ切り後板目。 内面:体部回転ナデ。底部不定ナデ。	密	良好	内外面:橙色	内外面赤色塗彩。
29	SD1 D8グリッド 黒色土	109	第28図	縄文土器 鉢	器高:3.7△	内外面:粗いナデ。	密	良好	内外面:褐色	
30	SD1 C8グリッド 砂層	379	第28図	縄文土器 鉢	器高:2.7△	外面:ナデ。 内面:ケズリ。	やや粗 (1mm以 下の砂 粒多く含 む)	良好	外面:にぶい黄 褐色 内面:褐色	
31	SD1 C8グリッド 砂層	166・173 ・177・179 ・181	第28図 PL.20	土師器 甕	口径:25.4* 器高:10.5△	外面:口縁部ヨコナデ。体部ハケ目後ナ デ。 内面:口縁部ヨコナデ。体部ケズリ後ナ デ。	密(1~ 2mmの礫 含む)	良好	外面:黒褐色 内面:にぶい褐 色	
32	SD1 B9グリッド 砂層	201	第28図 PL.21	土師器 甕	口径:32.0*器高 .32△	外面:ナデ。 内面:口縁部ヨコナデ。体部左方向ケズ リ。	密(0.5~ 3mm大の 砂粒多く 含む)	良好	外面:灰黄~黄 灰色 内面:にぶい黄 褐色	外面黒斑あり。
33	SD1 B9グリッド 黒色土	197	第28図 PL.21	土師器 甕	口径:15.0* 器高:3.7△	外面:ナデ。 内面:口縁部ヨコナデ。体部左方向ケズ リ。	密(1mm 以下の砂 粒含む)	良好	内外面:にぶい 黄褐色	

表15 土器・土製品観察表(2)

遺物番号	遺構区層位名	取り上げ番号	挿図PL	種類器種	法量(cm)	手法上の特徴	胎土	焼成	色調	備考
34	SD1 D8グリッド 黒色土	228	第28図 PL.21	土師器 甕	器高:5.5△	外面:口縁部ヨコナデ。底部タテハケ。 内面:口縁部ヨコナデ。底部ケズリ。	密	良好	外面:褐色 内面:ぶい褐色	
35	SD1 D8グリッド 黒色土	222	第28図 PL.21	土師器 甕	器高:4.6△	外面:ヨコナデ。 内面:口縁部ヨコナデ。底部ケズリ。	密	良好	外面:黒褐色 内面:明黄褐色	外面スス付着。
36	SD1 C8グリッド 砂層	335	第28図 PL.19	土師器 環	器高:12.2※ 器高:4.1△ 底径:7.2※	外面:体部回転ナデ。底部ヘラ切り後ナ デ。 内面:体部回転ナデ。底部ナデ。	密	良好	内外面:ぶい 黄褐色～明赤 褐色	内外面赤色塗彩。伯 耆国庁第2段階
37	SD1 D8グリッド 砂層	266	第28図 PL.19	土師器 環	口径:12.4※ 器高:3.7△ 底径:7.8※	外面:体部回転ナデ。底部ナデ。 内面:体部回転ナデ。	密	良好	内外面:赤褐色	内外面赤色塗彩。伯 耆国庁第2段階
38	SD1 C8グリッド 砂層	342	第28図 PL.19	土師器 環	口径:10.6※ 器高:3.4 底径:5.1※	外面:体部回転ナデ。底部ヘラ切り後板 目。 内面:体部回転ナデ。底部不定ナデ。	密	良好	内外面:ぶい 黄褐色	内外面赤色塗彩。伯 耆国庁第2段階
39	SD1 D8グリッド 砂層	110	第28図 PL.19	土師器 環	口径:12.8※ 器高:3.5△ 底径:9.2※	外面:体部回転ナデ。中位指押さえあり。 底部ヘラ切り後ナデ。 内面:回転ナデ。	密	良好	内外面:明赤褐 色	内外面赤色塗彩。
40	SD1 D8グリッド 砂層	46・233	第28図 PL.19	土師器 環	口径:11.4※器高 .6.0	内外面:ヨコナデ。	密	良好	内外面:暗オ リーブ褐色	内面漆付着。
41	SD1 B9グリッド 砂層	46(H21 年度) ・224	第28図 PL.19	土師器 環	口径:12.1※ 器高:3.7 底径:6.5※	外面:体部回転ナデ。底部ナデ。 内面:体部回転ナデ。底部不整ナデ。指押 さえあり。	密	良好	内外面:明赤褐 ～褐色	内外面赤色塗彩。伯 耆国庁第2段階
42	SD1 B9グリッド 黒色土	199	第28図 PL.19	土師器 環	口径:11.2※ 器高:3.4 底径:5.2※	外面:体部回転ナデ。底部ナデ。 内面:体部回転ナデ。底部不定ナデ。	密(1～ 3mmの砂 粒含む)	良好	外面:赤褐色 内面:明赤褐色	内外面赤色塗彩。伯 耆国庁第2段階
43	SD1 D8グリッド 砂層	123	第28図 PL.19	土師器 環	口径:12.5※器高 .4.0底径:7.3※	外面:体部回転ナデ。底部ナデ。 内面:体部回転ナデ。底部不整ナデ。	密	良好	外面:ぶい 褐色～明赤褐 ～褐色	内外面赤色塗彩。伯 耆国庁第2段階
44	SD1 D8グリッド 黒色土	121	第28図 PL.19	土師器 環	口径:12.0※器高 .2.5底径:7.2※	外面:体部回転ナデ。底部ヘラ切り後ナ デ。 内面:体部回転ナデ。底部不定ナデ。	密	良好	内外面:赤褐色	内外面赤色塗彩。伯 耆国庁第2段階
45	SD1 C8グリッド 砂層	377	第28図 PL.19	土師器 環	口径:11.2※ 器高:2.8 底径:7.1※	外面:体部回転ナデ。底部ナデ。 内面:体部回転ナデ。底部不定ナデ。	密	良好	内外面:ぶい 黄褐色	内外面赤色塗彩。伯 耆国庁第2段階
46	SD1 D8グ リッド黒色土	133	第28図 PL.19	土師器 環	器高:4.0△	内外面:回転ナデ。	密	良好	外面:ぶい 黄褐色～赤褐 色 内面:赤褐色	内外面赤色塗彩。伯 耆国庁第2段階
47	SD1 C8グリッド 砂層	379	第28図 PL.19	土師器 環	器高:3.7△	内外面:回転ナデ。	密(1mm 以下の砂 粒わずか に含む)	良好	内外面:褐色	内外面赤色塗彩。
48	SD1 D8グリッド 黒色土	264	第28図 PL.19	土師器 環	口径:11.4※ 器高:2.4△	内外面:回転ナデ。	密	良好	内外面:褐色	内外面赤色塗彩。内 面油煙付着。灯明皿 として使用。
49	SD1 C8グ リッド	86	第28図 PL.19	土師器 環	器高:2.9△	内外面:回転ナデ。	密(1～ 3mmの砂 粒含む)	良好	外面:明赤褐色 内面:褐色	内外面赤色塗彩。
50	SD1 C8グリッド 砂層	379	第28図 PL.19	土師器 環	器高:2.8△	内外面:回転ナデ。	密	良好	外面:黒褐色 内面:暗褐色	
51	SD1 D8グリッド 造成土	262	第28図 PL.19	土師器 環	器高:2.3△底径 .9.8※	外面:体部ヨコナデ。底部ケズリ。 内面:体部ヨコナデ。底部ナデ。	密	良好	外面:暗赤灰～ 黒褐色内面:黒 褐色	内面漆付着。
52	SD1 B9・C8グ リッド砂層	86・207 ・246	第28図 PL.19	土師器 環	器高:2.8△ 底径:7.3※	外面:体部回転ナデ。底部ナデ。 内面:回転ナデ。	密	良好	内外面:褐色	伯耆国庁第2段階
53	SD1 D8グ リッド砂層	232	第28図 PL.19	土師器 環	器高:2.2△底径 .5.9※	外面:体部回転ナデ。底部ナデ。 内面:回転ナデ。	密	良好	外面:明赤褐～ ぶい黄褐色 内面:ぶい 黄褐色～褐色	内外面赤色塗彩。伯 耆国庁第2段階
54	SD1 C8グリッド	86	第28図 PL.19	土師器 環	器高:1.9△ 底径:7.0※	外面:体部回転ナデ。底部ヘラ切り後ナ デ。 内面:体部回転ナデ。底部不定ナデ。	密	良好	外面:ぶい 褐色 内面:褐色～ ぶい赤褐色	内外面赤色塗彩。
55	SD1 C8グリッド 黒色土	147・152	第28図 PL.19	土師器 環	器高:1.7△ 底径:7.2※	外面:体部回転ナデ。底部ヘラ切り後ナ デ。 内面:体部回転ナデ。底部不定ナデ。	密	良好	外面:灰褐～赤 褐色 内面:暗赤褐～ 暗赤灰色	内外面赤色塗彩。
56	SD1	84	第28図 PL.19	土師器 環	器高:1.3△	外面:体部回転ナデ。底部ナデ。内面:ナデ。	密	良好	外面:ぶい 黄褐色 内面:黄褐色～ 赤褐色	内外面赤色塗彩。
57	SD1 B9グリッド 砂層	224	第28図 PL.19	土師器 環	器高:1.9△	外面:体部回転ナデ。底部ヘラ切り後ナ デ。 内面:回転ナデ。	密	良好	内外面:明黄褐 色	内外面赤色塗彩。
58	SD1 D8グリッド 黒色土	125	第28図 PL.20	土師器 高台環	器高:4.3△ 底径:9.0※	外面:体部回転ナデ。底部ナデ。 内面:体部回転ナデ。底部不定ナデ。	密	良好	外面:明赤褐～ 浅黄褐色 内面:明赤褐色	内外面赤色塗彩。
59	SD1 D8グリッド 黒色土	128	第28図 PL.20	土師器 高台環	器高:4.9△ 底径:8.0※	外面:体部回転ナデ。底部ナデ。 内面:回転ナデ。	密	良好	内外面:褐色	内外面赤色塗彩。
60	SD1 C8グリッド 黒色土	167	第28図 PL.20	土師器 高台環	器高:2.3△ 底径:9.2※	外面:体部回転ナデ。底部指押さえ後ナ デ。 内面:回転ナデ。底部指押さえ後不定ナ デ。	密(0.5～ 1mm大 の砂粒含 む)	良好	内外面:浅黄褐 色	内外面赤色塗彩。
61	SD1 D8グリッド 砂層	119	第28図 PL.20	土師器 高台環	器高:3.0△ 底径:7.9※	外面:体部回転ナデ。底部ナデ。 内面:体部回転ナデ。底部不定ナデ。	密(1mm 前後の砂 粒含む)	良好	外面:ぶい 黄褐色～赤褐 色 内面:赤褐色	内外面赤色塗彩。
62	SD1 C8グリッド 黒色土	139	第28図 PL.20	土師器 高台環	器高:2.7△ 底径:7.5※	外面:体部回転ナデ。底部ナデ。 内面:体部回転ナデ。底部不定ナデ。	密	良好	外面:明褐～黒 褐色 内面:暗赤褐～ 赤褐色	内外面赤色塗彩。
63	SD1 E8グリッド 黒色土	93	第28図 PL.20	土師器 高台環	器高:2.8△ 底径:7.8※	外面:回転ナデ。 内面:回転ナデ。底部指押さえあり。	密	良好	外面:ぶい 黄褐色～褐色 内面:褐色	内外面赤色塗彩。
64	SD1		第28図 巻頭図版2	土師器 環	器高:2.2△	内外面:回転ナデ。	密	良好	内外面:ぶい 褐色	外面墨書。文字不明。

表16 土器・土製品観察表(3)

遺物番号	遺構区層位名	取り上げ番号	挿図PL	種類器種	法量(cm)	手法上の特徴	胎土	焼成	色調	備考
65	SD1 C8グリッド	282	第28図 巻頭図版2	土師器 坏	器高:3.2△	内外面:回転ナデ。	密	良好	内外面:明赤褐色	内外面赤色塗彩。外面墨書。文字不明。
66	SD1 B9グリッド 黒色土	245	第28図 巻頭図版2	土師器 高台坏	器高:3.1△ 底径:8.5※	外面:体部回転ナデ。底部ヨコナデ。 内面:回転ナデ。	密	良好	外面にぶい黄褐色～橙色～黒褐色 内面にぶい黄褐色～黒褐色。	内外面赤色塗彩。内面底部墨書。文字不明
67	SD1 C8グリッド 砂層	288	第28図 巻頭図版2	土師器 坏	器高:1.8△	内外面:回転ナデ。	密	良好	内外面:明赤褐色	内外面赤色塗彩。内面墨書「官」か。
68	SD1 D8グリッド	253	第28図 PL.21	土師器 甕	器高:4.0△	外面:ナデ。 内面:ケズリ。	密	良好	内外面:ぶい黄褐色	底部スス付着。
69	SD1 C8グリッド 造成土	279	第28図 PL.21	須恵器 坏蓋	器高:0.8△	内外面:回転ナデ。	密	良好	内外面:灰色	
70	SD1 C8・D8・E8グリッド 砂層	99・253・266・273	第28図 PL.22	須恵器 坏	口径:12.8※ 器高:4.2 底径:7.3	外面:体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面:回転ナデ。底部不定ナデ。	密(砂粒含む)	不良	外面:浅黄～橙色 内面:明黄褐色	
71	SD1 C8グリッド 砂層	376	第28図 PL.21	須恵器 坏	器高:3.7△	内外面:回転ナデ。	密	良好	内外面:暗青灰～灰白色	
72	SD1 D8グリッド 砂層	266	第28図 PL.21	須恵器 坏	器高:3.1△	内外面:回転ナデ。	密	良好	内外面:浅黄色	外面スス付着。
73	SD1 B9グリッド 砂層	241	第28図 PL.21	須恵器 坏	器高:2.4△	内外面:回転ナデ。	密	良好	内外面:灰色	
74	SD1 B9グリッド 黒色土	246	第28図 PL.21	須恵器 坏	器高:1.9△	内外面:回転ナデ。	密	良好	外面:灰色 内面:灰白色	
75	SD1 D8グリッド	255	第28図 PL.21	須恵器 坏	器高:1.3△ 底径:6.4※	外面:体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面:回転ナデ。	密(1mm以下の砂粒わずかに含む)	良好	内外面:灰黄色	
76	SD1 C8グリッド 砂層	234	第28図 PL.21	須恵器 坏	器高:2.2△ 底径:5.3※	外面:回転ナデ。底部回転糸切り。 内面:回転ナデ。	密	不良	外面:ぶい黄褐色 内面:ぶい黄褐色	
77	SD1 D8グリッド 砂層	206	第28図 PL.21	須恵器 坏	器高:1.7△ 底径:7.5※	外面:体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面:回転ナデ。	密	良好	内外面:明黄褐色	
78	SD1 D8グリッド 造成土	254	第28図 PL.21	須恵器 高台坏	器高:4.4△ 底径:8.4※	内外面:回転ナデ。	密	不良	内外面:橙色	
79	SD1 D8グリッド 砂層	116	第28図 PL.21	須恵器 甕	器高:6.0△	外面:頸部二段に亘って粗い波状文。 内面:回転ナデ。	密	良好	内外面:灰色	
80	SD1 E8グリッド 砂層	90	第28図 PL.21	須恵器 壺	器高:3.1△	外面:回転ナデ。体部貼り付け突帯が巡る。 内面:回転ナデ。	密	良好	外面:灰色 内面:浅黄色	外面自然釉付着。
81	SD1 黒色土	47(H21年度)	第28図 PL.21	須恵器 転用硯	器高:0.7	須恵器坏底部を利用した転用硯。 外面:ナデ。 内面:研磨。	密	良好	灰オリーブ色	
82	SD1 C8グリッド 砂層	288	第28図 PL.21	須恵器 転用硯	器高:0.9△	須恵器坏を利用した転用硯。 外面:回転ナデ。 内面:回転ナデ。底面よく擦られる。	密	良好	外面:暗灰黄色 内面:黄灰色	内外面にスス付着
83	SD1 B9グリッド 黒色土・砂層	206・245	第28図 PL.21	須恵器 甕	器高:19.6△	外面:平行叩き。 内面:同心円文当具痕	密	良好	外面:青灰色 内面:灰色	
84	SD1 D9グリッド 砂層	239	第29図 PL.21	須恵器 甕	器高:10.8△	外面:平行叩き。 内面:同心円文当具痕	密	良好	外面:灰色 内面:灰～明褐色	
85	SD1 C8グリッド 砂層	146	第29図 PL.21	須恵器 甕	器高:8.2△	外面:平行叩き。 内面:同心円文当具痕	密	良好	内外面:灰色	
86	SD5 黒色土	383	第30図	弥生土器 甕	器高:3.2△	内外面:ナデか。風化著しい。	密	良好	内外面:明黄褐色	
87	焼土1～3	61	第36図 PL.18	土師器 甕	口径:19.6※ 器高:6.7△	外面:ナデ。 内面:口縁部ナデ。体部ケズリ。	密	良好	内外面:ぶい黄褐色	外面スス付着。
88	焼土1～3	37	第36図 PL.18	土師器 甕	口径:18.2※ 器高:5.4△	外面:口縁部ヨコナデ。体部ナデ。 内面:口縁部ヨコナデ。体部右方向ケズリ。	やや粗	良好	外面:橙色 内面:橙～褐灰色	外面スス付着。
89	焼土1～3	57	第36図 PL.18	須恵器 坏	口径:12.0※ 器高:4.2 底径:7.3※	外面:体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面:回転ナデ。	密	良好	内外面:オリーブ灰色	
90	焼土1～3	29・46・55・56	第36図 PL.22	須恵器 高台付長頸壺	器高:8.3△ 底径:7.6※	外面:体部上半回転ナデ。下半ケズリ後ナデ。底部ナデ。 内面:回転ナデ。	密	良好	内外面:灰色	
91	焼土1～3	40	第36図	須恵器 盤	器高:1.8△ 底径:10.0※	外面:体部回転ナデ。底部回転糸切り後ナデ。 内面:回転ナデ。	密	良好	外面:灰色 内面:暗青灰色	
92	SD4	327	第42図	勝間田焼甕	器高:6.7△	外面:格子目叩き。 内面:ハケ目。	密	良好	外面:ぶい赤褐色 内面:灰黄色	
93	西側谷部 C13グリッド I層(黒色土)	65	第49図 PL.23	縄文土器 深鉢	器高:5.5△	外面:ネガティブな楕円押型文。 内面:粗いナデ。	やや粗(1～3mmの石英・長石含む)	良好	外面:ぶい黄褐色 内面:黒色	内面スス付着。
94	西側谷部 D13グリッド II層	30	第49図 PL.23	弥生土器 甕	器高:3.1△	外面:3条以上沈線。 内面:口縁部ミガキ。体部ナデ。	やや粗(2m大の礫含む)	良好	内外面:橙色	I-3様式
95	西側谷部 C14グリッド I層(黒色土)	67	第49図 PL.23	弥生土器 甕	器高:3.1△	外面:体部上半3条以上沈線文。 内面:口縁部ヨコナデ。体部ケズリ。	やや粗(1～3mmの石英含む)	良好	内外面:橙色	外面スス付着。I-3様式

表17 土器・土製品観察表(4)

遺物番号	遺構 地区 層位名	取り 上げ 番号	挿図 PL	種類 器種	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土	焼成	色調	備考
96	西側谷部 D12グリッド II層	75	第49図 PL.23	弥生土器 壺	口径:21.6※ 器高:3.5△	外面:口縁部3条凹線。頸部タテハケ。 内面:ヨコナデ。	密	良好	内外面:明褐色	
97	西側谷部 D13グリッド I層(黒色土)	293	第49図 PL.23	弥生土器 壺	器高:2.2△	外面:口縁部4条凹線。頸部貼り付け突帯。 内面:風化著しい。	密	良好	外面:にぶい黄色 内面:灰黄色	IV-1様式
98	西側谷部 D12グリッド I層(黒色土)	28	第49図 PL.23	弥生土器 甕	器高:2.5△	外面:口縁部3条凹線。 内面:ヨコナデ。	密	良好	内外面:黄褐色	IV-3様式
99	西側谷部 D13グリッド I層(黒色土)	77	第49図 PL.23	弥生土器 甕	器高:2.5△	外面:口縁部4条凹線。内面:ヨコナデ。	密	良好	内外面:浅黄色	IV-3様式
100	西側谷部 D13グリッド I層(黒色土)	73	第49図 PL.23	弥生土器 甕	口径:15.6※ 器高:4.7△	外面:口縁部3条凹線。体部タテハケ。 内面:口縁部ヨコナデ。頸部屈曲部以下ハケ目。	やや粗	良好	内外面:にぶい黄褐色	内外面風化。
101	西側谷部 D13グリッド I層(黒色土)	78	第49図	弥生土器 甕	口径:16.0※ 器高:2.5△	外面:口縁部4条凹線。 内面:ヨコナデ。	密	良好	内外面:浅黄褐色	外面スス付着。
102	西側谷部 D12グリッド I層(黒色土)	28	第49図 PL.23	弥生土器 甕	器高:4.5△	外面:口縁部3条凹線。頸部指頭圧痕文帯。 内面:ヨコナデ。	密	良好	内外面:橙色	
103	西側谷部 D13グリッド I層(黒色土)	78	第49図 PL.23	弥生土器 甕	器高:3.7△	外面:口縁部3条沈線。肩部ヨコナデ。 内面:口縁部ヨコナデ。頸部屈曲部以下右方向ケズリ。	密	良好	外面:青灰色 内面:暗青灰色	V-1様式
104	西側谷部 D12グリッド I層(黒色土)	28	第49図 PL.23	弥生土器 甕	器高:3.7△ 底径:7.0※	外面:体部縦方向ミガキ。 内面:ミガキ。	密	良好	外面:橙色 内面:短黄色	外面スス付着。
105	西側谷部 D13グリッド I層(黒色土)	293	第49図 PL.23	弥生土器 甕	器高:2.9△ 底径:6.6※	内外面:風化のため調整不明。	密	良好	内外面:にぶい橙色	外面黒斑あり。
106	西側谷部 D14グリッド I層(黒色土)	79	第49図 PL.23	弥生土器 甕・壺底部	器高:8.0△	外面:ミガキ。 内面:上方向ケズリ後一部ミガキ。	密	良好	内外面:橙色	外面黒斑あり。
107	西側谷部 D14グリッド I層(黒色土)	79	第49図 PL.23	土師器 甕	口径:31.0※器高: 4.3△	外面:ナデ。 内面:口縁部ナデ。体部左方向ケズリ。	密(1mm以下の砂粒含む)	良好	内外面:にぶい黄褐色	外面スス付着。
108	西側谷部 C14グリッド I層(黒色土)	67	第49図 PL.23	土師器 甕	口径:22.0※器高: 4.5△	外面:ヨコナデ。工具痕あり。 内面:口縁部ヨコナデ。体部横方向ケズリ。	密	良好	内外面:にぶい黄褐色	内面黒斑あり。
109	西側谷部 C14グリッド I層(黒色土)	67	第49図	土師器 甕	器高:5.6△	外面:ナデ。一部指押さえ。 内面:口縁部ナデ。体部ケズリ。	密	良好	外面:明黄褐色 内面:黄褐色	
110	西側谷部 D12グリッド II層(礫混じり黒色土)	75	第49図 PL.23	土師器 甕	器高:4.8△	外面:ヨコナデ。 内面:口縁部ヨコナデ。体部左右方向ケズリ。	密	良好	外面:にぶい黄褐色 内面:明黄褐色	外面スス付着。
111	西側谷部 D12グリッド II層(礫混じり黒色土)	75	第49図 PL.23	土師器 甕	器高:5.9△	外面:ナデ。 内面:口縁部ナデ。体部ケズリ。	密(2mm以下の砂粒含む)	良好	外面:にぶい橙～褐色 内面:褐色	
112	西側谷部 C13グリッド I層(黒色土)	65	第49図 PL.23	土師器 甕	器高:3.6△	外面:ナデ。 内面:口縁部ナデ。体部左方向ケズリ。	密(1mm以下の砂粒含む)	良好	外面:灰黄褐色 内面:浅黄色	内外面スス付着。
113	西側谷部 C13グリッド I層(黒色土)	62	第49図 PL.23	土師器 甕	器高:4.2△	外面:ヨコナデ。 内面:口縁部ヨコナデ。体部左方向ケズリ。	密	良好	外面:にぶい黄褐色 内面:浅黄褐色	
114	西側谷部 C13グリッド I層(黒色土)	373	第49図 PL.23	土師器 甕	器高:4.7△	外面:ヨコナデ。 内面:口縁部ヨコナデ。体部左方向ケズリ。	密	良好	外面:にぶい黄褐色 内面:にぶい黄褐色	
115	西側谷部 E12グリッド II層(礫混じり黒色土)	83	第49図 PL.23	土師器 甕	器高:7.5△	外面:口縁部ヨコナデ。肩部ハケ目。 内面:口縁部ヨコナデ。体部ケズリ。	密(1mm以下の砂粒含む)	良好	外面:灰黄褐色 内面:褐色	外面体部スス付着。
116	西側谷部 C13グリッド II層(礫混じり黒色土)	21	第49図 PL.23	土師器 甕	口径:16.6※器高: 3.7△	外面:ナデ。 内面:口縁部ナデ。体部左方向ケズリ。	密	良好	内外面:橙色	外面スス付着。
117	西側谷部 D12グリッド I層(黒色土)	28	第49図 PL.23	土師器 甕	口径:17.0※器高: 3.2△	外面:ヨコナデ。 内面:口縁部ヨコナデ。体部左方向ケズリ。	密	良好	内外面:褐色	
118	西側谷部 D12グリッド II層(礫混じり黒色土)	75	第49図 PL.26	土師器 甕	器高:4.7△	外面:ナデ。 内面:剥離。	密(2mm以下の砂粒含む)	良好	内外面:明黄褐色	
119	西側谷部 D12グリッド II層(礫混じり黒色土)	75	第49図 PL.23	土師器 甕	器高:6.7△	外面:ナデ。 内面:ケズリ。	密	良好	内外面:褐色	
120	西側谷部 D12グリッド I層(黒色土)	289	第49図 PL.23	土師器 皿	口径:12.9※ 器高:1.6 底径:10.6※	外面:体部ナデ。底部不定ナデ。 内面:ナデ。	密	良好	内外面:にぶい赤褐色	内外面赤色塗彩。
121	西側谷部 C14グリッド I層(黒色土)	67	第49図 PL.24	須恵器 坏蓋	口径:13.8※ 器高:2.7△	外面:天井部回転ケズリ。口縁部回転ナデ。 内面:回転ナデ。	密(2mm以下の砂粒含む)	良好	内外面:灰色	
122	西側谷部 D12グリッド II層(礫混じり黒色土)	75	第49図 PL.24	須恵器 坏	口径:12.8※ 器高:3.4 底径:8.0※	外面:体部回転ナデ。底部回転糸切。 内面:体部回転ナデ。底部不定ナデ。	密	やや不良	外面:灰色 内面:浅黄色	口縁部スス付着。
123	西側谷部 C14グリッド II層(黒色土)	67	第49図 PL.24	須恵器 坏	器高:3.4△ 底径:11.0※	外面:体部回転ナデ。底部回転糸切。 内面:体部回転ナデ。底部不定ナデ。	密(2mm以下の砂粒含む)	良好	外面:灰色 内面:暗緑灰色	
124	西側谷部 C14グリッド I層(黒色土)	77	第49図 PL.24	須恵器 坏	器高:1.7△ 底径:12.0※	外面:体部回転ナデ。底部回転糸切。 内面:不定ナデ。	密	良好	内外面:灰色	
125	西側谷部 D13グリッド I層(黒色土)	293	第49図 PL.24	須恵器 坏	器高:2.0△底径: 8.8※	外面:体部回転ナデ。底部 内面:回転ナデ。	密	不良	外面:浅黄色 内面:灰黄色	

表18 土器・土製品観察表(5)

遺物番号	遺構区層位名	取り上げ番号	挿図PL	種類器種	法量(cm)	手法上の特徴	胎土	焼成	色調	備考
126	西側谷部 C14グリッド I層(黒色土)	67	第49図 PL.24	須恵器 坏	口径:12.6※ 器高:3.8△	内外面:回転ナデ。	密	良好	内外面:灰色	
127	西側谷部 D12グリッド I層(黒色土)	291	第49図 PL.24	須恵器 坏	口径:13.0※ 器高:3.3△	内外面:回転ナデ。	密(1mm以下 の砂粒含む)	良好	内外面:灰色	
128	西側谷部 C14グリッド I層(黒色土)	67	第49図 PL.24	須恵器 坏	器高:2.7△	内外面:回転ナデ。	密	良好	内外面:灰色	
129	西側谷部 D13グリッド I層(黒色土)	75	第49図 PL.24	須恵器 高台坏	器高:3.7△	内外面:回転ナデ。	密	良好	内外面:灰オリーブ色	
130	西側谷部 D13グリッド I層(黒色土)	78	第49図 PL.24	須恵器 高台坏	器高:3.9△	内外面:回転ナデ。	密	良好	外面:青黒色 内面:灰白色	
131	西側谷部 D12グリッド I層(黒色土)	28	第49図 PL.24	須恵器 高台坏	器高:3.8△ 底径:9.6※	内外面:回転ナデ。	密	良好	内外面:青灰色	
132	西側谷部 D14グリッド I層(黒色土)	79	第49図 PL.24	須恵器 高台坏	器高:2.5△ 底径:9.0※	外面:回転ナデ。 内面:体部回転ナデ。底部ナデ。	密	良好	内外面:灰色	
133	西側谷部 D13グリッド I層(黒色土)	77	第49図 PL.24	須恵器 高台坏	器高:2.1△ 底径:8.8※	外面:体部回転ナデ。底部ナデ。 内面:体部回転ナデ。底部不定ナデ。	密	不良	内外面:灰黄色	
134	西側谷部 C13グリッド I層(黒色土)	373	第49図 PL.24	須恵器 高台坏	器高:1.9△ 底径:7.6※	内外面:回転ナデ。	密	良好	外面:明オリーブ 灰~暗灰色 内面:灰赤~青 灰色	
135	西側谷部 C13グリッド II層(礫混じり 黒色土)	21	第49図 PL.24	須恵器 高台坏	器高:1.8△ 底径:7.8※	外面:回転ナデ。 内面:体部回転ナデ。底部ナデ。	密	良好	内外面:青灰色	
136	西側谷部 C14グリッド I層(黒色土)	67	第49図 PL.24	須恵器 高台付皿	口径:18.6※ 器高:4.1 底径:13.6※	内外面:回転ナデ。	密(1mm以下 の砂粒含む)	良好	外面:暗緑灰色 内面:灰色	
137	西側谷部 C14グリッド I層(黒色土)	67	第49図 PL.24	須恵器 高台付皿	口径:16.2※ 器高:2.9 底径:12.8※	内外面:回転ナデ。	密	良好	内外面:灰白色	
138	西側谷部 C13グリッド II層(礫混じり 黒色土)	21	第49図 PL.24	瓦質土器 羽釜	器高:5.3△	外面:口縁部ヨコナデ。体部ケズリ。 内面:ヨコナデ。	密	良好	外面:橙~灰白色 内面:ぶい黄 褐色	外面スス附着。
139	西側谷部 D14グリッド I層(黒色土)	79	第49図 PL.23	分銅形土製品	最大長:8.8△ 最大幅:8.9△ 最大厚:2.2	表面:側縁部に貝殻復縁による刺突文。 側面から裏面に向けて穿孔4箇所。 裏面:ナデ。	密	良好	ぶい黄褐色	全面赤色塗彩。
140	D 6グリッド 黒色土	304	第51図 PL.25	弥生土器 甕	器高:1.6△	外面:口縁部3条凹線。 内面:ナデ。	やや粗	良好	内外面:ぶい 橙色	
141	D 7グリッド 黒色土中	334	第51図 PL.25	土師器 高台坏	器高:3.1△ 底径:8.7	外面:体部ヨコナデ。底部ナデ。 内面:ナデ。全体的に風化。	密	良好	内外面:浅黄色	
142	C 7グリッド 黒色土	316	第51図 PL.25	土師器 甕	器高:5.9△	外面:口縁部ヨコナデ。体部ナデ。 内面:口縁部ヨコナデ。体部左方向ケズ リ。	密	良好	外面:ぶい黄 褐色 内面:ぶい橙 色	内面口縁部スス付 着。
143	D 7グリッド 黒色土中	303	第51図 PL.25	土師器 甕	器高:7.8△	外面:ヨコナデ。 内面:口縁部ヨコナデ。体部ケズリ。	密	良好	外面:橙色 内面:明黄褐色	
144	C 7グリッド 黒色土	316	第51図 PL.24	須恵器坏	器高:1.6△底径 .5.7※	外面:体部ヨコナデ。底部回転糸切り。 内面:回転ナデ。	密	良好	内外面:灰色	
145	D 6グリッド 黒色土	304	第51図 PL.25	勝間田焼 甕	器高:7.0△	外面:格子目叩き。 内面:ハケ目。	密	良好	外面:褐色 内面:黄褐色	
146	遺構外 B13グリッド 造成土	9	第52図 PL.26	弥生土器 甕	器高:1.6△	外面:口縁部刻み目。 内面:ヨコナデ。	密(2~ 3mmの 石英含む)	良好	内外面:暗褐色	I-3様式
147	遺構外 C13グリッド 造成土	6	第52図 PL.26	弥生土器 甕	器高:3.4△	外面:口縁部ヨコナデ。体部上半乱れた沈 線。 内面:ナデ。	密	良好	外面:ぶい橙 色 内面:灰褐色	外面黒斑あり。I-3様 式
148	遺構外 D 7グリッド 表土~造成土	23	第52図 PL.26	弥生土器 甕	器高:5.1△	外面:口縁部多条化した平行沈線。頭部ナ デ。 内面:口縁部風化のため調整不明。頭部屈 曲部以下右方向ケズリ。	密(3mm 以下の礫 含む)	良好	内外面:浅黄~ 明黄褐色	内面口縁部スス付 着。
149	遺構外 C 8グリッド 表土~造成土	16	第52図 PL.26	土師器 甕	口径:22.4※器高 :3.8△	外面:ヨコナデ。 内面:口縁部ヨコナデ。体部左方向ケズ リ。	密	良好	内外面:橙色	内面口縁部スス付 着。
150	遺構外 D 8グリッド 表土~造成土	24	第52図 PL.26	土師器 甕	口径:10.0※器高 :4.5△	外面:口縁部ヨコナデ。体部ナデ。 内面:口縁部ヨコナデ。体部左方向ケズ リ。	密	良好	内外面:ぶい 黄褐色	
151	遺構外 D10グリッド 耕作土	5	第52図 PL.26	土師器 甕	器高:4.2△	外面:ヨコナデ。 内面:口縁部ヨコナデ。体部右方向ケズ リ。	密	良好	外面:褐灰~橙 色 内面:褐灰色	
152	遺構外 C13グリッド 造成土	6	第52図 PL.26	土師器 甕	器高:3.5△	外面:口縁部ヨコナデ。体部ナデ。 内面:口縁部ヨコナデ。体部右方向ケズ リ。	密	良好	内外面:ぶい 褐色	外面スス附着。
153	遺構外 D12グリッド 表土~造成土	27	第52図	土師器 甕	器高:5.2△	外面:ヨコナデ。 内面:口縁部ヨコナデ。体部ケズリ。	密	良好	外面:灰黄色 内面:ぶい黄 褐色	外面スス附着。
154	遺構外 D13グリッド 表土~造成土	29	第52図	土師器 甕	器高:2.4△	外面:ヨコナデ。 内面:口縁部ヨコナデ。体部左方向ケズ リ。	密	良好	内外面:ぶい 褐色	外面スス附着。
155	遺構外 D13グリッド 表土~造成土	29	第52図 PL.26	土師器 甕	器高:4.4△	外面:ナデ。 内面:口縁部ヨコナデ。体部ケズリ。	密	良好	内外面:ぶい 黄褐色	
156	遺構外 D13グリッド 表土~造成土	29	第52図 PL.26	土師器 甕	器高:6.2△	外面:ヨコナデ。 内面:口縁部ヨコナデ。体部ナデ。	密	良好	内外面:ぶい 褐色	

表19 土器・土製品観察表(6)

遺物番号	遺構区層位名	取り上げ番号	挿図PL	種類器種	法量(cm)	手法上の特徴	胎土	焼成	色調	備考
157	遺構外C13グリッド造成土	6	第52図PL.26	土師器甕	器高:4.5△	外面:ヨコナデ。内面:ケズリ。	密	良好	外面:にぶい黄橙色 内面:橙～灰褐色	
158	遺構外B8グリッド表土～造成土	12	第52図PL.26	土師器甕	器高:7.9△	外面:ヨコナデ。内面:ケズリ。	密	良好	内外面:にぶい黄橙色	外面スス付着。
159	遺構外D7グリッド表土～造成土	23	第52図PL.26	土師器環	口径:12.0※ 器高:4.0 底径:7.5※	外面:体部回転ナデ。底部ヘラ切り後ナデ。 内面:体部回転ナデ。底部押圧後不定ナデ。	密(1mm台の砂粒含む)	良好	外面:明褐～赤褐色 内面:赤褐色	内外面赤色塗彩。伯耆国庁第2段階
160	遺構外C7グリッド表土～造成土	15	第52図PL.26	土師器環	器高:2.2△ 底径:7.6※	内外面:体部ヨコナデ。	密	良好	内外面:橙色	外面赤色塗彩。
161	遺構外B12グリッド表土～造成土	63	第52図巻頭図版2	土師器環	器高:1.7△	内外面:回転ナデ。	密	良好	内外面:赤褐色	外面墨書。文字不明。
162	遺構外C7グリッド表土～造成土	15	第52図PL.26	土師器高台環	器高:3.1△ 底径:9.4※	外面:体部回転ナデ。底部ナデ。 内面:体部回転ナデ。底部不定ナデ。	密(1mm台の砂粒含む)	良好	外面:にぶい橙～赤褐色 内面:赤褐色	内外面赤色塗彩。
163	遺構外排土中	332	第52図PL.26	土師器柱状高台環	器高:3.0△ 底径:3.0	外面:体部～高台回転ナデ。底部回転糸切り。 内面:体部回転ナデ。	密	良好	外面:にぶい橙～褐灰色 内面:にぶい橙色	
164	遺構外D13グリッド表土～造成土	29	第52図PL.26	須恵器環蓋	口径:15.3※ 器高:2.4△	外面:天井部回転ケズリ後ナデ。体部回転ナデ。 内面:回転ナデ。	密	良好	内外面:灰色	
165	遺構外D13グリッド表土～造成土	29	第52図PL.26	須恵器環蓋	口径:14.3※ 器高:2.4△	外面:天井部回転ケズリ。口縁部回転ナデ。 内面:天井部不定ナデ。口縁部回転ナデ。	密(1～2mm大の礫含む)	良好	内外面:灰色	天井部重ね焼きの痕跡。
166	遺構外D12グリッド表土～造成土	27	第52図PL.26	須恵器環	器高:1.5△ 底径:8.9※	外面:体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面:体部回転ナデ。底部不定ナデ。	密	良好	外面:褐灰色 内面:灰色	
167	遺構外D13グリッド表土～造成土	29	第52図PL.26	須恵器環	器高:1.8△ 底径:6.0※	外面:体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面:回転ナデ。	密	不良	内外面:灰褐色	
168	遺構外D13グリッド表土～造成土	8・29	第52図PL.26	須恵器環	器高:2.2△	外面:体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面:回転ナデ。	密	不良	内外面:橙色	外面黒斑。内面スス付着。
169	遺構外D13グリッド表土～造成土	29	第52図	須恵器環	器高:3.8△ 底径:9.8※	外面:体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面:体部回転ナデ。底部不定ナデ。	密(1mm前後の砂粒含む)	良好	内外面:灰色	内面スス付着。
170	遺構外D3グリッド表土～造成土	29	第52図	須恵器環	口径:11.8※ 器高:3.1△	内外面:回転ナデ。	密	良好	外面:暗灰色 内面:青灰色	
171	遺構外D12グリッド表土～造成土	27	第52図	須恵器高台付皿	器高:1.9△ 底径:11.2※	内外面:回転ナデ。	密	良好	内外面:灰白色	
172	遺構外B9グリッド造成土	13	第52図PL.26	須恵器高台環	器高:2.7△ 底径:7.2※	内外面:回転ナデ。	密	良好	外面:黄灰色 内面:灰黄色	
173	遺構外C7グリッド表土～造成土	318	第52図PL.26	須恵器環	器高:4.2△	外面:回転ナデ。体部貼付中央突帯。 内面:回転ナデ。	密	良好	外面:灰色 内面:灰白色	
174	遺構外C9グリッド表土～造成土	18	第52図PL.26	須恵器高台付壺	器高:2.1△ 底径:9.6※	外面:体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面:不定ナデ。	密	不良	内外面:灰白色	外面黒斑あり。
175	遺構外E7グリッド表土～造成土	33	第52図PL.26	灰釉陶器高台付碗	器高:1.6△ 底径:6.2※	内外面:回転ナデ。	密	良好	内外面:灰白色	内外面施釉。
176	遺構外C9グリッド表土～造成土	18	第52図PL.26	瓦質土器羽釜	器高:4.5△	外面:口縁部ヨコナデ。突帯以下ナデ。 内面:ヨコナデ。	密(1mm前後の砂粒含む)	良好	外面:黒褐色 内面:灰色	
177	遺構外C10グリッド耕作土	4	第52図PL.26	青磁碗	器高:3.1△	内外面:施釉。	密	良好	胎土:灰白色 釉:オリーブ灰色	青磁碗D類
178	遺構外D13グリッド表土～造成土	76	第52図PL.26	青磁碗	器高:2.8△	外面:施釉。 内面:形骸化したヘラ描唐草文。施釉	密	良好	胎土:灰色 釉:オリーブ灰色	
179	遺構外D7グリッド表土～造成土	23	第52図PL.26	勝間田焼甕	器高:6.2△	外面:格子目叩き。 内面:ハケ目。	密	良好	外面:にぶい赤褐色 内面:灰黄褐色	
180	遺構外D10グリッド耕作土	5	第52図	瀬戸・美濃焼天目茶碗	器高:2.4△	全面鉄釉。	密	良好	胎土:灰色 釉:黒褐色	大窯前期
181	遺構外C10グリッド耕作土	4	第52図	陶器碗	器高:1.6△ 底径:4.8※	外面:畳み付け部露胎。 内面:底部蛇の目釉剥ぎ。	密	良好	胎土:にぶい橙色 釉:灰白色	

表20 石器・石製品観察表(1)

遺物番号	遺構地区名	取り上げ番号	挿図PL	種類	石材	法量(cm)	手法上の特徴	重量(g)	備考
S 1	SK 5 黒色土	367	第23図 PL.25	打製石鍬	硬質安山岩	最大長:15.1△ 最大幅:11.3 最大厚:1.5	打製石鍬刃部。基部を欠く。	267.5△	
S 2	SK 5 黒色土	366	第23図 PL.25	敲石	安山岩	最大長:12.4 最大幅:6.4 最大厚:3.5	不定形な撥形を呈す。側面、端部の一部に敲打面あり。全面研磨。	342	
S 3	SK 5 黒色土	368	第23図 PL.25	磨石	安山岩	最大長:8.8 最大幅:8.6 最大厚:3.5	不定な球形を呈す。全面研磨。	792.5	
S 4	SK 4 上面	225	第46図 PL.25	砥石	粘板岩	最大長:4.9△ 最大幅:5.3△ 最大厚:1.6△	板状を呈す。主な砥面は1面。側面一部研磨。裏面線条痕あり。	82	
S 5	西側谷部 D14クリッド I層(黒色土)	79	第50図 PL.25	有溝石錘	花崗斑岩	最大長:7.9 最大幅:6.0 最大厚:5.2	完形の瀬戸内型有溝石錘。	319	
S 6	西側谷部 D13クリッド I層(黒色土)	296	第50図 PL.25	調整剥片	黒曜石	最大長:3.9 最大幅:5.1 最大厚:1.6	一部調整が見られる剥片。	23	